

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成26年4月15日

【四半期会計期間】 第94期第3四半期(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)

【会社名】 株式会社大運

【英訳名】 DAIUN CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 高橋 健一

【本店の所在の場所】 大阪市西区西本町一丁目10番10号

【電話番号】 (06)6532局4101番

【事務連絡者氏名】 取締役 管理本部長 吉野 弘一

【最寄りの連絡場所】 大阪市西区西本町一丁目10番10号

【電話番号】 (06)6532局4101番

【事務連絡者氏名】 取締役 管理本部長 吉野 弘一

【縦覧に供する場所】 株式会社大運 神戸支店
(神戸市東灘区向洋町東三丁目)
株式会社大運 名古屋支店
(名古屋市中区丸の内一丁目4番12号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成26年2月13日に提出いたしました第94期第3四半期(自平成25年10月1日至平成25年12月31日)の四半期報告書の提出後に、一部取引における消費税の課税非課税区分の計上に誤りがあることが判明したため、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、四半期財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式(表示情報ファイルを含む)を提出いたします。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 業績の状況

(2) 財政状態の分析

第4 経理の状況

1 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(2) 四半期損益計算書

注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

(1株当たり情報)

四半期レビュー報告書

3 【訂正箇所】

訂正箇所は____を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第93期 第3四半期 累計期間	第94期 第3四半期 累計期間	第93期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	4,819,921	4,836,361	6,238,336
経常利益 (千円)	72,790	<u>108,158</u>	53,771
四半期(当期)純利益 (千円)	68,674	<u>124,850</u>	47,364
持分法を適用した場合の 投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	2,394,398	2,394,398	2,394,398
発行済株式総数 (千株)	62,280	62,280	62,280
純資産額 (千円)	1,810,180	<u>2,053,699</u>	1,843,798
総資産額 (千円)	5,416,075	<u>5,676,240</u>	5,403,844
1株当たり四半期(当期)純 利益金額 (円)	1.10	<u>2.01</u>	0.76
潜在株式調整後1株当たり四 半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
1株当たり配当額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	33.4	<u>36.2</u>	34.1

回次	第93期 第3四半期 会計期間	第94期 第3四半期 会計期間
会計期間	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	1.44	<u>0.94</u>

- (注) 1 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 当社は子会社株式及び関連会社株式を有していないので、持分法を適用した場合の投資利益については、記載しておりません。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(訂正後)

回次	第93期 第3四半期 累計期間	第94期 第3四半期 累計期間	第93期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	4,819,921	4,836,361	6,238,336
経常利益 (千円)	72,790	<u>93,065</u>	53,771
四半期(当期)純利益 (千円)	68,674	<u>111,658</u>	47,364
持分法を適用した場合の 投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	2,394,398	2,394,398	2,394,398
発行済株式総数 (千株)	62,280	62,280	62,280
純資産額 (千円)	1,810,180	<u>2,040,507</u>	1,843,798
総資産額 (千円)	5,416,075	<u>5,661,146</u>	5,403,844
1株当たり四半期(当期)純 利益金額 (円)	1.10	<u>1.79</u>	0.76
潜在株式調整後1株当たり四 半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
1株当たり配当額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	33.4	<u>35.9</u>	34.1

回次	第93期 第3四半期 会計期間	第94期 第3四半期 会計期間
会計期間	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	1.44	<u>0.86</u>

- (注) 1 当社は、四半期連結財務諸表を作成していませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については、記載していません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれていません。
- 3 当社は子会社株式及び関連会社株式を有していないので、持分法を適用した場合の投資利益については、記載していません。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

(訂正前)

当第3四半期累計期間(平成25年4月1日～平成25年12月31日)におけるわが国経済は、円安・株高が進行し、製造業を中心に業績回復の傾向が見受けられ、全般的に明るい見通しが多くなってきました。しかしながら、円安が原材料コストや物価の押し上げとなる面もあり、先行き不透明感も残る状況が続いております。

(中略)

この結果、当第3四半期累計期間における営業収入は4,836,361千円で、前年同四半期と比べ16,440千円(0.3%)の増収、営業利益は97,519千円で、前年同四半期と比べ17,323千円(21.6%)の増益、経常利益は108,158千円で、前年同四半期と比べ35,368千円(48.6%)の増益となりました。投資有価証券売却益38,081千円を計上し、四半期純利益は124,850千円で、前年同四半期と比べ56,176千円(81.8%)の増益となりました。

セグメントごとの業績の状況を示すと次のとおりであります。

港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、円安傾向の影響により、輸出関連の収入は堅調に推移したものの、輸入関連の収入は伸び悩みました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、4,638,897千円で前年同四半期と比べ18,768千円(0.4%)の増収となり、全セグメントの95.9%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は377,444千円で前年同四半期と比べ68,421千円(22.1%)の増益となりました。

(後略)

(訂正後)

当第3四半期累計期間(平成25年4月1日～平成25年12月31日)におけるわが国経済は、円安・株高が進行し、製造業を中心に業績回復の傾向が見受けられ、全般的に明るい見通しが多くなってきました。しかしながら、円安が原材料コストや物価の押し上げとなる面もあり、先行き不透明感も残る状況が続いております。

(中略)

この結果、当第3四半期累計期間における営業収入は4,836,361千円で、前年同四半期と比べ16,440千円(0.3%)の増収、営業利益は82,426千円で、前年同四半期と比べ2,230千円(2.8%)の増益、経常利益は93,065千円で、前年同四半期と比べ20,274千円(27.9%)の増益となりました。投資有価証券売却益38,081千円を計上し、四半期純利益は111,658千円で、前年同四半期と比べ42,984千円(62.6%)の増益となりました。

セグメントごとの業績の状況を示すと次のとおりであります。

港湾運送事業

当社の主要セグメントである当セグメントにおきましては、円安傾向の影響により、輸出関連の収入は堅調に推移したものの、輸入関連の収入は伸び悩みました。

この結果、営業収入(セグメント間の内部売上高又は振替高を除く)は、4,638,897千円で前年同四半期と比べ18,768千円(0.4%)の増収となり、全セグメントの95.9%を占めております。

セグメント利益(営業利益)は362,350千円で前年同四半期と比べ53,327千円(17.3%)の増益となりました。

(後略)

(2) 財政状態の分析

(訂正前)

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末より159,101千円増加して3,296,646千円となりました。これは営業未収入金の増加100,326千円、立替金の増加68,590千円、現金及び預金の減少3,921千円等によるものであります。

(中略)

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末より67,562千円減少して2,027,232千円となりました。これは短期借入金の減少63,600千円、支払手形の減少6,196千円等によるものであります。

(中略)

(純資産)

当第3四半期会計期間における純資産は、前事業年度末より209,901千円増加して2,053,699千円となりました。これは繰越利益剰余金の増加124,850千円、その他有価証券評価差額金の増加85,210千円等によるものであります。

(訂正後)

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末より144,007千円増加して3,281,552千円となりました。これは営業未収入金の増加100,326千円、立替金の増加68,590千円、現金及び預金の減少3,921千円等によるものであります。

(中略)

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末より69,464千円減少して2,025,330千円となりました。これは短期借入金の減少63,600千円、支払手形の減少6,196千円等によるものであります。

(中略)

(純資産)

当第3四半期会計期間における純資産は、前事業年度末より196,709千円増加して2,040,507千円となりました。これは繰越利益剰余金の増加111,658千円、その他有価証券評価差額金の増加85,210千円等によるものであります。

第4 【経理の状況】

2 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期財務諸表について、かがやき監査法人により四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期財務諸表について、かがやき監査法人により四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期財務諸表について、かがやき監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期財務諸表】
(1) 【四半期貸借対照表】
(訂正前)

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,038,697	2,034,775
受取手形	16,107	5,222
営業未収入金	684,888	785,214
立替金	354,060	422,651
その他	61,980	69,299
貸倒引当金	8,190	20,517
流動資産合計	3,137,544	3,296,646
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	201,478	190,294
構築物(純額)	2,552	2,438
機械及び装置(純額)	19,114	15,522
車両運搬具(純額)	48,808	36,471
工具、器具及び備品(純額)	10,619	9,264
土地	576,183	576,183
リース資産(純額)	27,584	34,402
建設仮勘定	4,500	-
有形固定資産合計	890,841	864,577
無形固定資産		
のれん	391,034	370,086
その他	103,282	104,337
無形固定資産合計	494,316	474,424
投資その他の資産		
投資有価証券	669,293	786,452
差入保証金	99,194	95,757
その他	384,739	411,703
貸倒引当金	280,815	266,244
投資その他の資産合計	872,412	1,027,669
固定資産合計	2,257,569	2,366,670
繰延資産		
社債発行費	8,730	12,923
繰延資産合計	8,730	12,923
資産合計	5,403,844	5,676,240

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	1 47,874	1 41,678
営業未払金	479,705	523,232
短期借入金	648,600	585,000
1年内償還予定の社債	92,100	127,600
1年内返済予定の長期借入金	605,577	571,395
未払金	75,842	52,934
未払法人税等	13,682	18,561
賞与引当金	34,453	9,064
その他	1 96,960	97,766
流動負債合計	2,094,795	2,027,232
固定負債		
社債	296,850	454,650
長期借入金	887,975	866,624
退職給付引当金	175,572	183,083
その他	104,854	90,950
固定負債合計	1,465,251	1,595,307
負債合計	3,560,046	3,622,540
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	314,304	314,304
その他資本剰余金	433,466	433,446
資本剰余金合計	747,771	747,751
利益剰余金		
利益準備金	5,856	5,856
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,152,310	1,027,459
利益剰余金合計	1,146,454	1,021,603
自己株式	10,371	10,511
株主資本合計	1,985,344	2,110,035
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	141,545	56,335
評価・換算差額等合計	141,545	56,335
純資産合計	1,843,798	2,053,699
負債純資産合計	5,403,844	5,676,240

(訂正後)

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,038,697	2,034,775
受取手形	16,107	5,222
営業未収入金	684,888	785,214
立替金	354,060	422,651
その他	61,980	54,206
貸倒引当金	8,190	20,517
流動資産合計	3,137,544	3,281,552
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	201,478	190,294
構築物（純額）	2,552	2,438
機械及び装置（純額）	19,114	15,522
車両運搬具（純額）	48,808	36,471
工具、器具及び備品（純額）	10,619	9,264
土地	576,183	576,183
リース資産（純額）	27,584	34,402
建設仮勘定	4,500	-
有形固定資産合計	890,841	864,577
無形固定資産		
のれん	391,034	370,086
その他	103,282	104,337
無形固定資産合計	494,316	474,424
投資その他の資産		
投資有価証券	669,293	786,452
差入保証金	99,194	95,757
その他	384,739	411,703
貸倒引当金	280,815	266,244
投資その他の資産合計	872,412	1,027,669
固定資産合計	2,257,569	2,366,670
繰延資産		
社債発行費	8,730	12,923
繰延資産合計	8,730	12,923
資産合計	5,403,844	5,661,146

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	1 47,874	1 41,678
営業未払金	479,705	523,232
短期借入金	648,600	585,000
1年内償還予定の社債	92,100	127,600
1年内返済予定の長期借入金	605,577	571,395
未払金	75,842	52,934
未払法人税等	13,682	16,660
賞与引当金	34,453	9,064
その他	1 96,960	97,766
流動負債合計	2,094,795	2,025,330
固定負債		
社債	296,850	454,650
長期借入金	887,975	866,624
退職給付引当金	175,572	183,083
その他	104,854	90,950
固定負債合計	1,465,251	1,595,307
負債合計	3,560,046	3,620,638
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,394,398	2,394,398
資本剰余金		
資本準備金	314,304	314,304
その他資本剰余金	433,466	433,446
資本剰余金合計	747,771	747,751
利益剰余金		
利益準備金	5,856	5,856
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,152,310	1,040,651
利益剰余金合計	1,146,454	1,034,795
自己株式	10,371	10,511
株主資本合計	1,985,344	2,096,843
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	141,545	56,335
評価・換算差額等合計	141,545	56,335
純資産合計	1,843,798	2,040,507
負債純資産合計	5,403,844	5,661,146

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】
(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業収入	4,819,921	4,836,361
営業原価	4,512,371	4,486,926
営業総利益	307,550	349,435
販売費及び一般管理費	227,354	251,915
営業利益	80,195	97,519
営業外収益		
受取利息	151	138
受取配当金	13,204	13,273
雑収入	25,950	35,707
営業外収益合計	39,306	49,119
営業外費用		
支払利息	40,960	36,264
社債発行費償却	413	1,806
貸倒引当金繰入額	1,754	-
雑損失	3,583	409
営業外費用合計	46,712	38,480
経常利益	72,790	108,158
特別利益		
固定資産売却益	1,763	2,652
投資有価証券売却益	-	38,081
特別利益合計	1,763	40,733
特別損失		
固定資産売却損	448	-
固定資産除却損	255	42
投資有価証券評価損	-	2,499
特別損失合計	703	2,542
税引前四半期純利益	73,850	146,349
法人税、住民税及び事業税	5,176	21,499
法人税等合計	5,176	21,499
四半期純利益	68,674	124,850

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業収入	4,819,921	4,836,361
営業原価	4,512,371	4,502,020
営業総利益	307,550	334,341
販売費及び一般管理費	227,354	251,915
営業利益	80,195	82,426
営業外収益		
受取利息	151	138
受取配当金	13,204	13,273
雑収入	25,950	35,707
営業外収益合計	39,306	49,119
営業外費用		
支払利息	40,960	36,264
社債発行費償却	413	1,806
貸倒引当金繰入額	1,754	-
雑損失	3,583	409
営業外費用合計	46,712	38,480
経常利益	72,790	93,065
特別利益		
固定資産売却益	1,763	2,652
投資有価証券売却益	-	38,081
特別利益合計	1,763	40,733
特別損失		
固定資産売却損	448	-
固定資産除却損	255	42
投資有価証券評価損	-	2,499
特別損失合計	703	2,542
税引前四半期純利益	73,850	131,256
法人税、住民税及び事業税	5,176	19,597
法人税等合計	5,176	19,597
四半期純利益	68,674	111,658

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(訂正前)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	合計 (注)3
	港湾運送事業	自動車運送事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,638,897	190,450	4,829,348	7,013	4,836,361	-	4,836,361
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,192,701	333,147	1,525,848	-	1,525,848	1,525,848	-
計	5,831,599	523,597	6,355,197	7,013	6,362,210	1,525,848	4,836,361
セグメント利益又は損失 ()	377,444	34,984	342,460	6,877	349,337	251,817	97,519

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険その他を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額の内容は、251,817千円は全社費用であり、その内容は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	合計 (注)3
	港湾運送事業	自動車運送事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,638,897	190,450	4,829,348	7,013	4,836,361	-	4,836,361
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,192,701	333,147	1,525,848	-	1,525,848	1,525,848	-
計	5,831,599	523,597	6,355,197	7,013	6,362,210	1,525,848	4,836,361
セグメント利益又は損失 ()	362,350	34,984	327,366	6,877	334,243	251,817	82,426

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険その他を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額の内容は、251,817千円は全社費用であり、その内容は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

(訂正前)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	1円10銭	2円01銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	68,674	124,850
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	68,674	124,850
普通株式の期中平均株式数(千株)	62,185	62,181

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(訂正後)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	1円10銭	1円79銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	68,674	111,658
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	68,674	111,658
普通株式の期中平均株式数(千株)	62,185	62,181

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年4月15日

株式会社 大運
取締役会 御中

かがやき監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 上 田 勝 久 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 奥 村 隆 志 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社大運の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第94期事業年度の第3四半期会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社大運の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期財務諸表に対して平成26年2月13日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

-
- (注) 1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2．四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。